

# あおば館家庭的養護推進計画改定

# 青葉通信

## 第17号

発行  
社会福祉法人  
中日新聞社会事業団  
中日青葉学園

**あ**おば館は今春、社会的養護が必要な子どもたちを、より家庭に近い環境で育てる家庭的養護推進計画をまとめ、愛知県に提出しました。県から一部修正依頼があり、改定し八月八日の中日新聞社会事業団理事会で承認されました。施設本体を小規模化するのが当初計画でしたが、「愛知県内で地域小規模児童養護施設が足りない」との話を受けて、あおば館で取り組んでほしい」との話を受けて、本体小規模化に加え、地域小規模児童養護施設1カ所を開設します。

### 大舎から中舎へ

昭和三十五年開設した中日青葉学園は、児童七十人が男女別居室、大食堂に大浴場を利用するなど大所帯の生活(大舎制)でスタートしました。平成十五年十

～平成15年9月  
大舎70人

男子棟 35人	女子棟 35人
食堂 浴室	

平成15年10月～平成25年9月  
中舎70人

ひのき(男子) 18人	もみじ(女子) 男女幼児5人
けやき(男子) 18人	しらかば(女子) 男女幼児5人

1ホーム8LDK(17～18人)

現在 平成25年10月～  
中舎3+小規模グループケア2=70人

ひのき(男子) 18人	もみじ(女子) 18人
けやき(男子) 18人	しらかば(女子)8人 さくら(幼児)8人

前期 平成27年度～31年度  
28年度62人、29年度51人

ひのき(男子) 8人	もみじ(女子) 19人→14人
けやき 19人→13人	しらかば8人 さくら8人

小規模3(24人) 中舎2(38人→27人)

中期 平成32年度～36年度  
45人

ひのき8人	もみじ13人
けやき8人	しらかば8人 さくら8人

小規模4(32人) 中舎1(13人)

後期 平成37年度～41年度

ひのき8人	もみじ8人
けやき8人	しらかば7人 さくら8人

本体小規模5(39人)  
地域小規模1(6人)  
計45人  
地域小規模

月、建て替えを機に一人部屋二、二人部屋四、複数部屋二、リビング、キッチン、トイレ、浴室の8LDKのホーム四つで構成する中舎制に移行、十五人から十八人が一つのグループとして暮らすようになりました。二階男子「けやき」、二階女子「しらかば」、三階男子「ひのき」、三階女子「もみじ」と男女各二ホームが二フロアに分かれた四つの中舎ホームです。児童七十人のうち、幼児十人は男女混合で五人ずつ、女子の「しらかば」「もみじ」に入りました。

国は社会的養護のあり方について、平成二十三年「施設養護から家庭養護、家庭的養護へ」を柱にした「社会的養護の課題と将来像」をまとめ、二十四年には「要保護児童の養育は二十七年から四十年までに①里親・ファミリーホーム②施設外小規模グループにし、児童定員を四

十五人にする。(中舎ホーム一、小規模ホーム四、定員四十五人)  
後期 三十七年度～四十一年度 三十九年度、地域小規模児童養護施設「まつ」(仮称・定員六人)を開設、中舎もみじホームを八人定員の小規模グループとし、児童定員は本体施設三十九人、地域小規模児童養護施設六人となる。(本体施設小規模ホーム五、定員三十九人。地域小規模児童養護施設一、定員六人)  
予算計画 期間中、毎年百万円(計千五百万円)を積み立て、①中舎を小規模に②地域小規模児童養護施設として借り上げる家屋それぞれ改修費用に充て、随時、計画を進めます。空きスペースが出た旧中舎ホーム居室は一時保護、地元日進市子育て支援事業(シヨートステイ)、里親レスパイトケアの児童受け入れに活用します。

現行職員数のまま児童定員を五十一人にする。(中舎ホーム二、小規模ホーム三、定員六十二人・五十一人)  
中期 三十二年度～三十六年度 三十二年度に中舎けやきホームを八人定員の小規模グループにし、児童定員を四

二十八年度に中舎ホームひのきを八人定員の小規模グループにし、施設定員を六十二人にする。職員配置が四・一になる二十九年度に現行職員数のまま児童定員を五十一人にする。(中舎ホーム二、小規模ホーム三、定員六十二人・五十一人)  
中期 三十二年度～三十六年度 三十二年度に中舎けやきホームを八人定員の小規模グループにし、児童定員を四

「くらちゃんハウスと連携」  
ファミリーホーム支援連携については、平成二十五年四月、あおば館元職員が東海市に開設したファミリーホーム「くらちゃんハウス」と経理事務アドバイザー、あお

## 施設支援職員研修会

児童相談センター施設支援検討委員会職員研修が九月二十四日、学園会議室で職員三十五人が参加して開かれました。築山高彦西三河児童・障害者相談センター長が「児童養護施設の現状と課題」と題し児童相談所が行う措置の意味等、児童相談所の立場から児童養護施設の現状を見て、施設内不適応や暴力問題など、児童養護施設が抱える課題を、続いて佐々木大樹西三河児童・障害者相談センター企画・児童指導課主任が「施設内不適応の理解と対応」と題し、施設内不適応と現在の対応状況を整理し、優先して取り組むべき課題等、今

後の効果的な取り組み方法について話しました。その後、家庭支援相談員、小規模ケア職員、心理士などそれぞれの立場から、普段の業務で感じていることなどを通して意見交換しました。児童相談センターは、入所児童の不適応に対応するため安全委員会方式の導入を進めています。青葉学園は、「安全、安心、楽しく」を掲げており、二十六年、安全安心委員会の名のもとに現時点で施設としてできることに取り組んでいますが、あおば館わかば館とも問題が起きています。この日の研修で、全職員が改めて、学園現状と課題を認識し、より良いケアに当たります。

## 中日青葉学園 理念

### 「和」

人の輪を広げ、豊かな心を育て、未来に向けて子どもと共に歩み、地域福祉の向上に貢献します。

### 方針

- 1 家庭的なホーム生活を通じ、子どもたちの情緒の安定を図り、安全で安心できる生活を提供します。
- 2 スポーツ・文化活動を通じ、仲間との連帯感、心身の健康、豊かな心、忍耐力を育みます。
- 3 児童の権利擁護に努め、子どもたちの言葉を傾け、社会的責任と自分たちの権利、義務について共に考え、自立を支援します。
- 4 地域との交流を深め、地域の子育て支援、ボランティア支援の役割を担い、地域に開かれた参加型の施設を目指します。
- 5 外部の専門機関との連携を深め、子どもたちにとって、より良い支援を行います。
- 6 「子どもの最善の利益」を念頭に、職員の教育・研修を行い、自己研鑽に努めます。



# 夏の目的別活動

夏休みの子どもの楽しみ「目的別活動」が5グループに分かれて行われました。

## 幼児さん高原で遊ぶ

★7月12日～13日

【岐阜県郡上市高鷲町】あおば館幼児7人、職員6人  
12日 川遊び、昼食、モリソラの家で夕食はバーベキュー  
13日 牧歌の里で乳搾り体験など



## 小学生郡上キャンプ

★7月22日～23日

【岐阜県郡上市大谷森林キャンプ村ほか】  
あおば・わかば館小学生19人、職員13人  
22日 キャンプ場で川遊び、温泉入浴  
23日 郡上市内散策・鍾乳洞

## 若狭湾無人島

★7月24日～25日

【福井県若狭湾】  
あおば・わかば館中高生26人、職員17人  
24日 敦賀市松原海岸で海水浴  
25日 常神半島で素潜り、釣りなど



## 体験キャンプ

★7月31日～8月1日

【滋賀県信楽・日野町】わかば館小中生4人、職員4人  
31日 信楽たぬき村で信楽焼き絵付け 1日 ブルーメの丘でピザ作り

## 知多半島アドベンチャー

★8月25日～26日

【愛知県知多半島】  
あおば館小中高生19人、職員8人  
25日 南知多グリーンバレーでバーベキュー・アトラクション、ブルーベリー狩り  
26日 セントレア、時計作り



# 夏季球技大会!!

愛知県児童福祉施設長会の夏季球技大会が8月18日(ソフトボール・幸田町)、20日(卓球・日進市)開かれました。



## ソフトボール

**あおば館** 前年のレギュラーがたくさん抜け、お世辞にも強いチームとは言えませんでした。しかし、「優勝したい」というチームの目標に向かい、キャプテンを中心に練習に日々取り組みました。大会当日は快晴。猛暑の中、試合を行いました。決勝の相手は、豊橋平安寮。先制したかと思うと、点を入れられ、こちらもまた点を取り、また点を取られ...と、両者とも集中力を切らさず、試合は進みました。最終回に同点となり、延長戦に。選手は最後まで諦めず、ボールに喰らい付いていきましたが、あと一歩及ばず敗退。私自身、優勝があと少しの所であったのにつかむことが出来ずに悔しい...申し訳ない...という気持ちと、一生懸命プレーし、素晴らしい試合をしてくれた選手に感謝の気持ちが生まれました。今回の試合を経験したことはとても大きい糧になると思います。  
(あおば館 林美歩、宮地拓朗)



**わかば館** 昨年の主力児童が退園などで抜け、ゼロからのスタートでした。選手の三分の二はまともにキャッチボールもできない子で、ルールも全く分からない状態であったため、練習前にミーティングをしてポジションの名前を教えることから始まり、動き方や部活のあり方を伝えました。情緒的な問題を抱える子にとって、上手くできないことやチームメイトの言動への苛立ち、試合でプレッシャーが掛かる場面では自身の感情を上手くコントロールできず、その都度個別的なケアが必要でした。問題に直面した時、どのように対処するのかなど、夏の期間だけでも多くのことを経験することができました。苦しいことや大変なことの方が多かったかもしれませんが、それに勝る経験をえたのではないかと感じます。職員子ども共にこの経験を活かして来年に繋げていきたいと思っています。  
(わかば館 大嶋昭範、藤本裕也)



## 卓球

**あおば館** 今年の卓球部はトラブルから始まり、部員が問題行動を起こし、皆でそのことについて考え反省、「卓球部は姿を見せていく」という答えを見つけ出しそこからスタートしたチームでした。子どもたちがだらけてくると、スタートを思い出すよう伝え、切り替えました。昨年、監督が交代、コーチも変更になりましたが、練習には毎年ボランティアに来てくださっている外部の方々や卓球部のOB・OGの子たちの協力があり、子どもたちの技術が日に日に上達していきました。強化練習は暑さとの戦いもあり、少し動いただけで部員がだらけ、心身ともに疲れました。その中であいつづをすることは徹底し、大切にしてきました。年々、部員の年齢が低くなってきていることが現状で、練習中も素振りだけの子どももいました。団体戦、今年は1チームのみの出場でした。結果は3位。昨年と同じでしたが、内容は全試合素晴らしかったと思っています。  
(あおば館 平尾直之、加藤有美子)



**わかば館** わかば館卓球部は、ソフト部と兼ねている児童が多く、全員で練習を行うことが難しい日が続いていましたが、中学1年生を中心に、練習に励みました。あおば館と合同で練習してきましたが、ことはわかば館だけにしました。短い時間で集中することを目的に、子どもたちと相談しながら、スキルの向上を目指しました。大会では、団体戦で梅ヶ丘学園Aチームに5対0で勝利。次戦は負けましたが、それぞれ自分なりの試合ができました。個人戦では、勝った子、惜しくも負けてしまった子がいました。6月から入部した子が3勝し、驚きました。また、練習時よりも大きな声を出してチームメイトを応援する子が多く、チーム一丸となって戦うことができました。  
(わかば館 加藤千聖)

## 新人です。よろしく (所属、名前、生まれ、一言、好きな動物)

<p>わかば館パート職員 ▽辻本千絵美▽おうし座▽名古屋▽笑顔と健康が取り柄です。子どもたちの気持ちに寄り添いながら一杯過こしていただきます。</p>  	<p>わかば館パート職員 ▽田花子▽やぎ座▽名古屋▽子どもたちが穏やかに安心して生活することができるよう一生懸命やります。</p>  	<p>あおば館パート職員 ▽二村真代▽さざり座▽豊田市▽子どもたちと楽しく過ごしたいです。</p>  	<p>あおば館パート職員 ▽田中真代▽さざり座▽豊田市▽子どもたちと楽しく過ごしたいです。</p>  
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

29 福社の星フォーラ	27 北小学校運動会	24 児相施設支援検討委員会職員研修	18 日進中学校体育大会	13 愛知県韓国青年商工会焼肉会	5 日進中学校体育大会	9 月	31 合同会議で新理事長あいさつ	29 わかば夏祭り	28 犬の触れ合い訪問	27 高加生交流会Ⅱ部	25 目的別活動・南知多	25 贈り物	22 卓球大会	20 卓球大会	18 目的別活動・信楽	12 目的別活動・信楽	8 熱中症・食中毒対策など園内研修	3 熱中症・食中毒対策など園内研修	7 月	30 中川区民生児童委員見学	28 わかば館ドッグセラピーSST	25 職員研修1班あいさんテラス見学(2班は7月9日)	22 ヲガ教室開催	22 青葉友の会総会	7 ボランティア活動、青葉友の会総会	5 ナゴヤドーム野球招待	4 中部児童養護施設協議会三重大会(津)に参加(6日)	6 月	29 社会事業団理事承認 決算・事業報告承認	23 橋本三南紀が柑類寄贈	17 児童健康診断	6 園外出 名古屋市内	4 園外出 池田公園	3 園外出 イチゴ狩	5 月	29 青葉分校スポーツフェスティバル	25 園内遊具点検	15 園式(2人)	8 園式(2人)	7 小学校入学式(1人)	4 日進中学校入学式(10人)	4 月
-------------	------------	--------------------	--------------	------------------	-------------	-----	------------------	-----------	-------------	-------------	--------------	--------	---------	---------	-------------	-------------	-------------------	-------------------	-----	----------------	-------------------	-----------------------------	-----------	------------	--------------------	--------------	-----------------------------	-----	------------------------	---------------	-----------	-------------	------------	------------	-----	--------------------	-----------	-----------	----------	--------------	-----------------	-----

# 半年の出来事

### 全社協・全国児童養護施設協議会

#### 倫理綱領

- 1 私たちは、子どもの利益を最優先した養育をおこないます
- 2 私たちは、子どもの理解と受容、信頼関係を大切にします
- 3 私たちは、子どもの自己決定と主体性の尊重につとめます
- 4 私たちは、子どもと家族との関係を大切にしたい支援をおこないます
- 5 私たちは、子どものプライバシーの尊重と秘密を保持します
- 6 私たちは、子どもへの差別・虐待を許さず、権利侵害の防止につとめます
- 7 私たちは、最良の養育実践を行うために専門性の向上をはかります
- 8 私たちは、関係機関や地域と連携し、子どもを育みます
- 9 私たちは、地域福祉への積極的な参加と協働につとめます
- 10 私たちは、常に施設環境および運営の改善向上につとめます

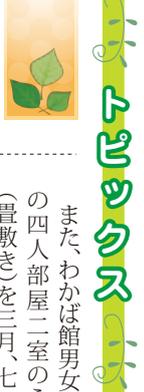
2010年5月17日 制定



わかば館長も館長室から職員室に出て、コミュニケーションを取りやすくしています。

### 学園改修

学園長・あおば館長室はあおば館職員室の一角に壁とドアで仕切りをし独立していましたが、六月下旬、壁、ドアを撤去、職員室を広げました。平成十五年の改築当時と比べ、職員が増え手狭になったのと、学園長、職員間の風通しをより良くします。併せてOAフロアとし、年内に予定するパソコン更新に備えました。



また、わかば館男女各ホームの四人部屋二室のうち一室(畳敷き)を三月、七月にそれぞれ洋室の二人部屋に改修しました。児童のプライバシー確保と複数児童が同室にいることで起きやすいトラブルを未然に防ぐためです。

名古屋市の安藤産業様、市内の匿名の方からそれぞれ五百万円、豊田市の匿名の方から百万円の寄付をいただきました。安藤産業様は学園マイクロバス購入、名古屋市の匿名の方は、社会事業団大学等進学支援金に積み立て、豊田市の匿名の方は年度末のお楽しみ外出に充てる予定です。ありがとうございます。

### 多額寄付感謝



### ついで会

四月二十九日、退園生、元・現職員が交流する第四回「ついで」の会が開かれました。約六十人が参加、職員と児童の和太鼓を披露、立食形式で昼食をともしながら歓談しました。退園生男女各一人が「学園の仲間と先生の支えがあつて今があります。これからも学園とのかかわりを大切にしたい」とスピーチしました。

### 必ず一日停止



今年五月、自転車で登校する男子高校生一年生が学園正門前でバイクと衝突、軽いけがをしました。門から道路へ出る時、安全確認のため停止しなかつたのが原因。とまれの看板と道路標示があるが守られないのが実情で、より分かりやすくするため、道路面に赤いペンを塗りました。雨天時、ペンは滑りやすいですが、注意してほしいです。



### 不適切な関わり

八月上旬、職員が卓球部活動中、注意が入りにくい児童の頭を平手で叩きました。措置児童虐待であり、関係児童相談センターに報告、学園長を含め懲戒処分をいたしました。このほか、児童から暴言等を受けたと二件の訴えがありました。児童相談センターの調査で「虐待には当たらない」とされました。

### 保護者苦情

夏休み、小学生男子の保護者から「ほかの子にいじめられている」と訴えがあり、関係する子どもたちの聞き取りをして確認、指導するとともに「暴力のない安心できる学園にしよう」と話し合いました。このほか、意見箱に入れられた投書については、その都度、職員が対応しています。

### ありがとうございました

五月から十月上旬までに多くの方からご支援をいただきました。あおば館でテレビ4台、女子トイレの洗浄機を購入したり児童の健全育成、安全対策などに役立ててまいります。ありがとうございます。

（順不同、敬称略）  
 安藤産業、匿名(五百万円)匿名(百万円)服部工務店、中日新聞印刷(三十万円)中日新聞販売店(二十九万四千円)福島厚子(二十万円)中日総合サービス(十五万円)東海高校第十七回同期会(十四万六千円)兼松エレクトロニクス、日進電気、ヴァリダックス、鬼頭昌子、丸新舎、ナゴヤドーム、中日新聞保険サービス、中日高速オフセット印刷、中日オフセット印刷、中日制作センター、中日アドレップ、中日サービズ、木下サーカス、村松泰平(十万円)共生印刷、中日アド企画、中日シヨッパー、産通名古屋支社、中日エージェンシー、横井太、中日新聞折込広告協同組合、角新聞店五万円)中日企業、中日興業、西尾中日サービズセンター、知多ピアーオールセンター、古川博三、匿名(三万円)本多豊子(二万円)真能秀久、古合俊明、宮沢ミサ、オフイスビックバ、M(一万円)夢シフト、劇団飛行船、中部善意銀行、名古屋トヨペット、オークランド観光開発、慈眼寺、マリオン日進店、親切会中部支部、東海アイスクリーム協会、吉番屋、僕のAパン、都筑、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、シヨクブン、チュチュアンナ、中日新聞岩崎専売店、こどもハートクラブ、コムスタッフ、日本レコード協会、ゆうちょ銀行、ハンブントリアカデミー、オプイングリッシュ、横山弘子、愛知県遊技業協同組合青年部会、カルビー、名古屋食糧、カカロの木、I・T・Life、樋口信子、東ソー・ニッケミ(以上招待、物品)

### 平成25年度 中日青葉学園決算

あおば館 (単位:円)		わかば館 (単位:円)	
収入の部	支出の部	収入の部	支出の部
1.措置費	187,841,156	1.人件費	150,111,555
2.補助金	21,135,590	2.事務費	21,254,238
3.寄附金	5,075,025	3.事業費	60,576,917
4.雑収入	10,332,630	4.固定資産取得	29,812,752
5.利息配当	6,721	5.修繕積立金	1,000,000
6.繰入金	30,000,000	6.人件費積立金	0
7.助成金等	0	7.整備費積立金	3,000,000
8.積立金取崩	10,000,000	8.次期繰越金	0
9.繰越金取崩	1,364,340	9.繰越金取崩	0
合計	265,755,462	合計	265,755,462
		合計	170,137,649
		合計	170,137,649

社会福祉法人中日新聞社会事業団  
 〒460-8511  
 名古屋市中区三の丸1-6-1  
 中日新聞社1階  
 電話 052 (221) 0580  
 ファクス 052 (221) 0839  
 中日青葉学園  
 〒470-0131  
 愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164  
 児童養護施設「あおば館」  
 電話 0561 (72) 0134  
 ファクス 0561 (74) 2315  
 児童心理治療施設「わかば館」  
 電話 0561 (74) 7752  
 ファクス 0561 (72) 7557

### 編集後記

あおば館家庭の養護推進計画を愛知県の要請から一部改定、仕切り直しをします。中舎三ホームのうち一ホームを改造しないで三ホームをそのまま小規模にするため予算的には楽になりました。昨年十月にスタートした「しらば」は「さくら」の二つの小規模は一年経過、職員、子どもとも新しい環境に慣れつつあります。長いようで短い小規模化への道のりが始まりです。

(M・M)